

『巫女の少女のお役目は、おま○こで穢れを浄化することです』

## ASMR 脚本

- 1  
2  
3  
4  
5 ◆登場人物  
6  
7 ・花依（はなよ）  
8  
9 ・巫女の少女  
10 ・年端もいかぬ少女だが、落ち着いており、大人びた表情を見せる。  
11 少々古風で間延びした言葉遣いが特徴。一人称は「花依（はなよ）」  
12 ・神社を訪れた主人公に突然声をかけ、主人公の穢れを清めるため、体を張つてお祓いの儀式を行う。  
13 ・「お祓い」に関して天賦の才を持つており、経験豊富。若い身体と  
14 磨いたテクニックを駆使して、日々も男性から「穢れ」を搾り取つてゐるが、  
15 主人公の肉棒の大きさに驚き、密かに興奮してゐる。  
16  
17

【巫女の少女のお役目は、おま○いじ穢れを浄化するいレジナ】

1.お祓いの方法

場所：神社の境内・夕

21

22

23

24

25

SE：カラスの鳴き声

・花依、背後から主人公に声をかける。

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

「では、少しだけ歩きますが…ついてきてください」

「ですがじ安心ください。」の場所はあなたのような方が多く訪れますが…皆、穢れを払つて帰つていきますから」

「やはりそうでしたか～」

「あなたは…相当穢れが溜まっていますから。全身にじびりついて…日常生活にも悪影響が出ているのでは？」

・主人公、花依の言葉に同意

・間

43

44

45

46

47

・主人公、花依の後ろをついて離れにある祈祷所へ。

SE：2人の足音（片方下駄・片方靴）※以下継続

「この神社では、ご相談に来た方についた穢れに応じて、  
お祓いの儀式を変えておりまして…」

「あなたの場合は、巫女…つまり花依と契りを結ぶことで、  
穢れを祓う方法が1番かと思ひます」

「具体的にはあなたの肉棒を、巫女の神聖な肉壺へと挿し込み  
穢れと共に精を吐き出していただく…という方法になりますね」

・主人公、驚き  
・間

「ふふ、安心ください。どなたもやられてふることです。  
それともあなたは、花依のような少女には、興奮しないですか？」

・間

「ふふ、そのようなことは、無いようですね…この通り…」

・花依、ズボンの上から主人公の股間に手を触れ

SE：衣擦れの音（サワサワ）

「あなたの肉棒は、すでに膨れ上がっているようですし…くすぐす…」

SE：2人の足音（片方下駄・片方靴） ※終了

「はい、つきました。続きは中でいたしましょう。お履物を脱いでください…」

SE：主人公・靴を脱ぐ音

・花依、主人公に先行して前を進む。

SE：花依、木製の階段を登る音（トントントン）

場所：祈祷所・夕

SE：ふすまを開ける音

「どうぞお入りください」

・主人公、花依の指示に従い、階段を登り部屋へと入る。

SE：主人公、木製の階段を登る音（トン、トン、トン）※花依よりゆつくり

100

101

⑦中

⑥中

⑥中

⑧近

⑥中

61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100  
101

102  
SE : やまとを閉める音  
103  
104  
105  
106  
107  
108  
109  
110  
111  
112  
113  
114  
115  
116  
117  
118  
119  
120  
121  
122  
123  
124  
125  
126  
127  
128  
129  
130  
131  
132  
133  
134  
135  
136  
137  
138  
139  
140  
141  
142  
143

(12) 中

「いらっしゃがお祓いの儀式を行う場所となります。そこにある布団の上に、おかげくだやい」

・主人公、花依の指示に従い、布団の上に腰掛ける。

SE : 主人公・足音（畳の上を歩く音）

SE : 衣擦れの音

・間

・花依、主人公の前まで移動

SE : 花依・足音（畳の上を歩く音）

「では、早速はじめましょう～」

・花依、可愛らしく主人公を押し倒す。

「ふふ～」

SE : 布団の上に倒れ込む音

・花依、主人公に馬乗り。

SE : 衣擦れの音

・花依、主人公のズボンを脱がせ、性器を露出させる。

SE : 衣擦れの音（サワサワ）

SE : ベルトを外す音

SE : チャックを降ろす音

SE : ズボンを脱がせる音（ズルズル）

SE : パンツを脱がせる音（スルスル）

・間

「あ～…まあ…」れは…」

「あ～… 失礼しました。

服の上で見るより…随分と立派で…」

「ふふ、花依の準備もやめていますから…  
そろそろ…参りますね？」

(6) 近

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

⑥中

⑥近

⑥接

③接

⑨接

⑥接

- 花依、主人公にもたれかかりながら素股を開始。

SE : 衣擦れの音

SE : 素股音 (水音) ※継続

「ふう…ふう…ふう…はじめは…ふう…、性器同士を擦らせて、…ふう…穢れが出やすく…ふう…ふう…なるように…」

- 花依、腰を動かしながら深呼吸するように息継ぎ。

「ふう…すう…はあ…ふう…ん…ふう…」

- 「ふう…ふう…はあ…ん…」

準備が整つたら、本来の用途に沿つた形で使えますから~」

- 「もう少しだけ…ふう…我慢してください」

「花依、息遣いの間隔が短くなる。

「ふう…ふう…ふう…ふう…はあ…ふう…ふう…」

「ふあ…じんわり…んん…じんわりと熱が出でましたね」

「ふう…」

あなたの身体に溜まつていた穢れが、肉棒へと集まつてゐる証拠です~」

「ふう…ふう…ふう…ん…ふう…はあ…ん…ふう…ん…ふう…」

「ふう…ふう…ふう…」

「ふう…ふう…そろそろ、準備が整つたようですね~」

SE : 素股音 (水音) ※終了

「ふう…ふう…はあ…ふう…そろそろ本番の…挿入へと参りましょ~」

- 花依、主人公の肉棒の先を、肉壺の入り口へとあてがう。

SE : 水音 (クチュ)

「ふう…では、参ります~」

- 花依、腰を落として挿入。

SE : 挿入音

186

「んっ…んう…ぐ…はああ♡」

187

「ふう…ふう…はふう…んん…」加減はいかがですか～？

188

190 少々あついかもしないですが、我慢してくださいね」

191 「…はあ…ふう…やはり想像以上です…」

192

「…はあ…ふう…花依も儀式を完遂でおふよつ…頑張りまわ」

193 「はふう…すう…はあ…では、動かすよ～？」

194

195 「はふう…すう…はあ…では、動かすよ～？」

196

197 「はふう…すう…はあ…では、動かすよ～？」

198

199 SE：ヌスーン音・ゆっくり開始 ※以下継続

200

201 「ふう…ふう…はあ…では、動かすよ～？」

202

203 「はふう…すう…はあ…では、動かすよ～？」

204

205 「はふう…すう…はあ…では、動かすよ～？」

206

207 「ふう… ふう…ふう… ふう…」

208 「な、中をつ…ザリザリ…あ…ん…、削つておまわね…

209 「ん…、く…ふ…ん…ん…、ふ…ふ…」

210 「だ…大丈夫ですよ…あん…、ひ…あん…、

211 「…、これは…穢れが浄化されまじん、抵抗している証拠ですか？」

212 「さあ、肉棒に意識を集中して…そして…ん…、

213 「穢れを…あぐ…吐き出す想像を！」

214 「ん…、もつと大きくなつたあ♡ ん…、はあ…はあ…

215 「ふう、ん…」

216 「ふう…、ん…」

217 「花依、快感で体勢を保てなくなりはじめる。

218 「ふう…、はあ…」

219 「ふう…、はあ…」

220 「ふう…、はあ…」

221 「ふう…、はあ…」

222 「ふう…、はあ…」

223 「ふう…、はあ…」

224 「ふう…、はあ…」

225 「ふう…、はあ…」

226 「ふう…、はあ…」

227

⑥近

「あん…穢れが…浄化されますからあ…」

「そうです…その調子…ふあ…肉ひだへ擦り付け…

擦り付けた分だけ…ああ♡」

「あ…太…穢れ…こ…あ…」

228 んへ、 んへ…んへ…

229 「快感に…んへ…身を任せで…んへ…へ… 欲望のままに…  
230 穢れをいっぽこ…出してへ、 こやかめしめへ…んへ…」  
231

232 「はあ…はあ…んへ、 んへ… へ…」  
233 「あ…はあ…んへ…んへ…んへ…んへ…」  
234 「あ…んへ…んへ…んへ…んへ…んへ…」  
235

236 「はあ…はあ…んへ…じうですか？ 身体の調子は？」  
237

238 「あ…は…はう…ん…穢れは…取れ始めてます。  
239 んへ…少しあへ、 調子もおつ…あう…良くなつてやうこのじばへへ」  
240

241 • 主人公、 身体に起きた変化を語る。  
242 • 間

243 • 花依、 主人公の方へと倒れ込み、 満足そうに  
244

245 SE : ピヌーン音・ぬへへり 終了

246 247 (6)接  
248  
249 「えうでしょ。 えうでしょ」

250 「じすが…真の浄化はいからじすからね」

251 「え…んへ…」の儀式は…はあは…  
252 あなたが…花依の膣内へ、 精を放つこゑで、 完遂するのですから  
253 あふ…んへ…んへ…んへ…へんへ…」  
254

255 「今までよつも、 消耗が大きくなりますが…  
256 わやんと耐へ…穢れを祓い切りましょ。」  
257  
258 「やは、 こやかめやよ～？」  
259  
260 • 花依、 腰を動かすスピードをアップ。  
261 SE : ピヌーン音・早め 開始

262 (3)接  
263 「んへ… んへ… えんへ… んへ… えんへ… んへ…」

264 「あ…んへ…んへ… んへ… んへ… はあ…んへ…はあ…」  
265 「んへ…んへ… んへ… んへ… んへ… んへ…」  
266  
267  
268  
269 「ね…わかりますか？」



312	・間
313	
314	
315	「はあ……はあ……はあ……はあ、はあ、はあ、はあ……ん……ふう……」
316	
317	「んんっ……あなたの溜まつた穢れは…
318	ゼンダラ…すべて…淨化できましたっ…」
319	
320	・花依、眠そうに
321	SE：衣擦れの音
322	
323	「花依ももう…儀式を終えてくたくてしてー
324	…んっ…ふああ…」
325	
326	・間
327	
328	「ふみゅ……ふう……めし劣情を催したのなふ…
329	花依で…良ければ…お相手…ん…すう…すう…」
330	
331	・花依、寝息を立て始める。
332	
333	「わにゅう…」へへへ…やめ…」
334	
335	「すう…すう…すう…」
336	
337	・巫女の少女のお役目は、おま○いじ穢れを淨化するルルドア END

⑨接